

# 飯塚市議会だより

No. 19

2010.5.1

年5回発行：飯塚市議会 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 電話 22-0214 FAX 28-1251  
ホームページ：http://www.city.iizuka.lg.jp/giji/ メールアドレス：giji@city.iizuka.lg.jp

## 平成22年度関係 予算案を可決 一般会計予算総額540億円ほか17会計

平成22年第1回定例会を2月22日から3月23日まで開き、市長提出の平成22年度飯塚市一般会計予算など55議案、議員提出の意見書案10議案、請願3件、合わせて68件を審議しました。

なお、平成22年度飯塚市一般会計予算については、特別委員会を設置して審査しました。

その結果、市長提出議案35件を原案可決、1件を否決、18件を承認、人事議案1件に同意、議員提出議案10件を原案可決、請願3件を採択しました。

議決した主な内容は次のとおりです。

### 市長提出の議案

#### 〈平成21年度関係議案〉

##### 原案可決したもの

●飯塚市立関の山いこいの森条例を廃止する条例

本施設は、風水被害による休止の時期が多く、今後においても利用者の安全面での課題があり、大幅な利用者増が見込めないことから、平成22年3月31日で廃止するものです。

●飯塚市歴史資料館条例の一部を改正する条例

飯塚市穂波郷土資料館を飯塚市歴史資料館に統合し、平成22年3月31日で廃止するものです。

●平成21年度飯塚市一般会計補正予算（第7号）

国の第二次補正予算に伴う緊急経済対策等の事業を実施するため補正を行い、3億3648万2千円を追加するものです。

●飯塚市文化会館の管理の特例を定める条例の一部を改正する条例

飯塚市文化会館の管理について、指定管理者によらず、直営による管理を2年間延長するものです。

●飯塚市保健センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

廃止した飯塚保健センターにおいて暫定的に実施している体力づくりコースを平成22年3月31日までとし、4月1日からは飯塚第1体育館にて実施するものです。

●訴訟事件に係る和解

岩崎浄水場膜処理施設における損害賠償等請求住民訴訟控訴事件につ

いて、裁判所の意向としての和解案により、原告及び利害関係人と協議を行った結果、双方共に同意され、和解が整ったものです。

●専決処分承認（訴えの提起〔学校給食費請求事件〕）

学校給食費を納入しない長期滞納世帯54件に対して、飯塚簡易裁判所に一括での支払督促の申立てを行ったところ、長期滞納世帯54件のうち18件が分割納入を求める異議申立てを行い、訴訟へと移行したことから、早期解決を図るため専決処分を行ったものです。

#### 否決したもの

●飯塚市立図書館条例の一部を改正する条例

飯塚市立図書館額田館については、現状の利用実態を勘案し、平成22年3月31日で廃止しようとするものですが、賛成少数で否決されました。

#### 〈平成22年度関係議案〉

##### 原案可決したもの

●平成22年度飯塚市一般会計予算

4月の市長選挙執行に伴い、政策的な新規事業や補正予算計上で執行可能な投資的経費を除いた、骨格部分の年間予算のみとなっています。

歳入歳出予算の総額をそれぞれ540億9500万円と定めるものです。

(歳入の主なもの)

○市税

- ・市民税 57億109.9万5千円
- ・個人 48億433.9万1千円
- ・法人 8億676.0万4千円

- ・固定資産税 59億222.7万6千円
- ・軽自動車税 2億530.3万円
- ・市たばこ税 9億666.9万6千円

○地方譲与税

- ・地方揮発油譲与税 1億290.0万円
- ・自動車重量譲与税 3億430.0万円

○地方消費税交付金

- 12億180.0万円

○地方交付税

- ・普通交付税 139億円
- ・特別交付税 15億円

○分担金及び負担金

- ・公立保育所運営費保護者負担金 2億203.0万4千円
- ・私立保育所運営費保護者負担金 4億452.2万7千円

○使用料及び手数料

- ・市営住宅使用料 6億542.0万円
- ・ごみ処理手数料 5億420.0万円

○国庫支出金

- ・障がい者自立支援給付費等負担金 8億286.2万1千円
- ・私立保育所運営費負担金 6億140.9万9千円

・子ども手当負担金

- 15億766.2万円

・生活保護費負担金

- 74億532.9万9千円

○県支出金

- ・国民健康保険基盤安定負担金 3億377.4万9千円
- ・障がい者自立支援給付費等負担金 4億143.1万円
- ・後期高齢者医療基盤安定負担金 2億652.6万9千円
- ・緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金 1億095.5万1千円
- ・荒廃森林再生事業費補助金 1億324.8万7千円

○財産収入

- ・国勢調査委託金 680.0万円
- ・市有土地売却収入 1億920.0万円

○繰入金

- ・財政調整基金繰入金 4億285.6万9千円
- 諸収入 4億956.1万2千円
- ・中小企業資金融資預託金元利収入 4億956.1万2千円

○市債

- ・電算管理事業債 5億622.0万円
- ・臨時財政対策債 30億010.0万円

(歳出の主なもの)

- 議会費 1億892.4万4千円
- ・議員報酬

○総務費

- ・文書保存書架購入費 100.0万円
- ・飯塚市地域公共交通協議会負担金 595.8万5千円
- ・情報ネットワークシステム開発委託料 1億700.0万円
- ・電算システム新体系構築委託料 5億321.4万円
- ・データセンター使用料 110.2万5千円
- ・国税連携システム開発委託料 300.0万円
- ・路線価評定委託料 69.0万円
- ・市長選挙及び市議会議員補欠選挙費 611.9万3千円
- ・市議会議員選挙費 1億028.1万8千円
- ・国勢調査費 680.0万円
- 民生費 13億225.6万6千円
- ・後期高齢者医療療養給付費負担金 13億225.6万6千円
- ・老人ホーム措置費 1億791.7万2千円
- ・更生医療給付費 3億719.8万円
- ・重度障がい者医療費 3億761.6万3千円
- ・介護給付費 13億797.7万6千円
- ・乳幼児医療費 2億513.9万1千円
- ・私立保育所整備事業費補助金 2億255.0万4千円

・私立保育所運営費

- 17億274.1万5千円

・子ども手当

- 15億766.2万円

・穎田児童センター新築事業

- 158.1万円

○衛生費

- ・妊婦健康診査委託料 1億086.9万7千円
- ・飯塚市・桂川町衛生施設組合負担金 6億024.4万6千円
- ・ふくおか県央環境施設組合負担金 6億033.9万9千円
- ・ごみ収集業務委託料 6億159.3万7千円
- ・飯塚清掃工場費 5億648.7万8千円
- 労働費 1億301.0万3千円
- ・旧特定地域開発就労事業暫定就労事業費 1億301.0万3千円
- ・緊急雇用創出事業費 1億096.4万5千円
- 農林水産業費 318.9千円
- ・農地制度実施円滑化事業費 318.9千円
- ・荒廃森林再生事業費 1億316.8万5千円
- 商工費 328.3万円
- ・企業立地促進補助金 328.3万円
- ・中小企業資金融資預託金 4億956.1万2千円
- 土木費 670.0万円
- ・橋りょう調査委託料

・都市計画基本方針等策定委託料

1609万9千円

・川島公営住宅建替事業費

2156万5千円

○消防費

・飯塚地区消防組合負担金

15億9651万9千円

・防災資機材整備費

151万4千円

○教育費

・少人数学級教員配置事業費

7217万6千円

・学校整備費

・額田小中学校建設工事地盤調査委託料

940万円

・庄内小学校大規模改造工事設計委託料

1600万円

・庄内中学校大規模改造工事設計委託料

2420万円

・額田小中学校建設工事設計委託料

8820万円

・穂波西中学校大規模改造工事

900万円

・各小学校施設整備工事

3240万円

・各中学校施設整備工事

1780万円

・額田公民館新築事業費

3729万7千円

・市立図書館（飯塚・ちくほ・庄内）

指定管理委託料

1億0467万6千円

・文化会館費

1億8846万8千円

・保健体育施設管理費

1億7633万3千円

○公債費

・市債償還元金

68億9372万7千円

・市債利子

8億7810万3千円

・一時借入金利子

340万円

特別会計及び企業会計は各常任委員

会で審査しました。

各会計の予算総額及び対前年度伸び

率は次のとおりです。

●国民健康保険特別会計

138億0711万2千円

2.1%

●老人保健特別会計

2303万9千円

△35.3%

●介護保険特別会計

介護保険事業勘定

111億2791万2千円

3.4%

・介護サービス事業勘定

1億1694万9千円

△12.1%

●後期高齢者医療特別会計

17億4194万7千円

6.7%

●住宅新築資金等貸付特別会計

7389万8千円

△38.1%

●小型自動車競走事業特別会計

189億9017万8千円

△4.3%

●介護サービス事業特別会計

1億5535万6千円

1.2%

●農業集落排水事業特別会計

2292万円

△13.4%

●地方卸売市場事業特別会計

8864万8千円

△5.0%

●駐車場事業特別会計

8877万8千円

△3.2%

●工業用地造成事業特別会計

1億0631万円

△91.6%

●汚水処理事業特別会計

1561万2千円

△0.5%

●学校給食事業特別会計

10億9985万6千円

6.0%

●水道事業会計

30億1694万7千円

△14.2%

●産炭地域小水系用水道事業特別会計

4014万3千円

2.4%

●下水道事業会計

34億7611万2千円

△19.4%

●市立病院事業会計

2億5214万6千円

15.2%

(条例関係議案)

●飯塚市暴力団排除条例

市・市民等が一体となつて暴力団の排

除を推進するため、暴力団排除に関する

基本理念を規定し、市・市民等の役割の

明確化、暴力団を利用することの禁止など

を制定するものです。

●飯塚市病院事業の設置等に関する条例

の一部を改正する条例

飯塚市立病院の診療科目に新たに皮膚

科を設けるものです。

### 議員提出の議案

●中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書の提出

●2010年度の年金確保に関する意見書の提出

●後期高齢者医療制度の即時廃止を求める意見書の提出

●若者の雇用創出と新卒者支援の充実を求める意見書の提出

●中小企業等金融円滑化法の実効性を求める意見書の提出

●介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書の提出

●政治資金規正法の制裁強化を求める意見書の提出

●子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書の提出

●さらなる総合経済対策の策定を求める意見書の提出

●介護療養病床の全廃計画の中止を求める意見書の提出

これら10件の意見書は各関係大臣、関係機関等に送付しました。

### 請願

採択したもの

●「中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書」に関する請願

●後期高齢者医療制度の即時廃止の意見書提出を求める請願

●2010年度の年金確保に関する請願



## 人事議案

人権擁護委員に推薦することに同意

山本 峰子 さん

## 一般質問

市の一般事務について、13名の議員が一般質問を行いました。その一部を抜粋し、要旨を掲載します。

### 兼本 鉄夫 議員

#### 市立病院の運営について

【議員】医師の確保について、指定管理者のみの責任ではなく、本市としてどのように取り組んでいるのか。  
【健康増進課長】医師の確保は全国的にも非常に厳しい状況である。市と指定管理者が連携し、各大学の医学部訪問を行い、指定管理者が持つ自治医科大のネットワーク等を利用し確保に努力している。

【議員】収支はどのような状況なのか。

【健康増進課長】平成20年度は1億5千6百万円の赤字である。

【議員】今後、収支改善についての見通しをどのように考えているのか。

【健康増進課長】改善すべき点は多々あるが、福岡大学から整形外科医の派遣も

決定し、4月には皮膚科の新設も予定しており、これを契機に収支改善に向けて指定管理者と協力していきたい。

【議員】財政支援を一切行わない現在の市の姿勢について、地域医療の崩壊を防ぐためにも改めるべきではないか。

【保健福祉部長】基本的に、市の支出は考えていないが、今後どうしても必要な場合が出たときは、議会へ相談したい。



飯塚市立病院

#### 市有施設における

#### 自販機の設置について

【議員】他市において、自販機の設置を入札で行った結果、年間の財産使用料が70倍になる効果が出ている。自主財源を確保するために、本市も自販機設置にかかる入札を検討すべきではないか。

【管財課長】行財政改革実施計画の推進項目にもあり、試行も含めてできるところから検討、実施していきたい。

### 柴田 加代子 議員

#### 男女共同参画社会の状況について

【議員】男女共同参画の推進において、安心して働ける環境づくりをどのように考えているのか。

【男女共同参画推進課長】従来からの固定的性別役割分担意識や男性中心の企業意識等を改め、男女問わず個人の能力を十分に発揮できる職場環境づくりや、誰もが健康で働くことができる、生涯を通じた健康づくりの推進が必要と考えている。

#### 健康の森施設の活用について

【議員】子育てや健康づくりに配慮された健康の森公園を活用するため、市民へ広く周知し、公園を所管する各課共同のイベントが開催できないのか。

【総合政策課長】公園内の施設は設置目的等が異なっているため、これまで各課独自に利用促進を進めてきた。今後、公園一帯がもっと市民に親しまれ、活用されるために、各課共同のイベント開催も含め検討していきたい。

#### 国民読書年にあたっての

#### 取組みについて

【議員】今年が国民読書年にあたるため、長年、読み聞かせ活動等を行っているボランティアの方々に対し、感謝状等を贈

ることはできないのか。

【学校教育課長】読み聞かせボランティアの方々には大変感謝している。感謝状の贈呈は行政からがいいのか、また道徳等の学習の観点から、子どもたちからがいいのか、学校等関係者の意見を聞きながら、前向きに検討したい。

### 道祖 満 議員

#### まちづくりに関して

【議員】本市に大学があることで約1億6千万円の地方交付税を受けているが、大学に対する市の援助はどの程度か。  
【産学振興課長】大学支援の関連予算として約2千万円程度を計上している。

【議員】まちづくりに大学を活用するならば補助のあり方を見直すべきである。

【議員】自治基本条例等が制定された場合、まちづくり協議会との関係はどのようになると考えているのか。

【市民活動推進課長】市民自治や市民参加等を謳った条例であり、まちづくり協議会設立後、地域コミュニティ活動の推進を支えていくものと認識している。

【議員】学校再編整備計画案が策定され、行財政改革の第二次実施計画案が議会に提案されるのはいつなのか。

【行財政改革推進室主幹】学校再編整備計画案の策定時期は未定であるが、同計画案を基本とし、第二次実施計画の素案を考えている。素案作成には内部検討や意見募集等を含め数ヶ月要すると考えら

れるが、できる限り早期に策定したい。

【議員】小中学校区を地域コミュニティの理想の規模とし、本市はまちづくり協議会発足に向け取り組んでいるが、学校再編整備計画の策定の遅れが、今後のまちづくりに影響しないのか。

【市民活動推進課長】重要な課題と認識するが、まちづくり協議会の発足は地域の安全安心まちづくりのために急務であり、誠心誠意取り組んでいきたい。

【議員】学校再編整備計画策定の遅れが、まちづくりの推進や行財政改革の取組みを遅らせ、市の全体計画を狂わせていることを認識してほしい。

## 八 児 雄 一 議員

### 子どもの体力向上を目指した

#### 小中学校の取組みについて

【議員】小中学校では体力向上のため、どのような取組みが行われているのか。

【学校教育課長】年間を通し、朝の馬拉ソンや5分間走を行う学校、学期ごとにエアロビクス体操やタオル運動等を行い運動の楽しさを伝える学校など、体力向上のため様々な取組みを行っている。

【議員】体力は人間のあらゆる活動の源であり、物事に取り組む意欲や気力の充実にも深くかわる問題であるため、今後もしっかりと取り組んで欲しい。

### 物品回収に関わる悪質事業者に

#### 対する規制強化について

【議員】無料で不用品を回収すると宣伝

している業者は市内に何社あるのか。

【環境整備課長】正確には把握していないが、3、4社程度であると考えている。

【議員】家庭から出る不用品の回収を行う業務は、許可が必要であるのか。

【環境整備課長】再生利用の目的となる

古紙、くず鉄、空き瓶類等の一般廃棄物の収集・運搬は廃棄物処理法に基づく許可は不要であるが、それ以外の家庭の不用品を廃棄物として収集・運搬・処理するのであれば許可が必要となる。また、廃棄物ではなく再利用等を目的とし回収・販売する場合は、古物営業法に基づく公安委員会の許可が必要となる。

【議員】市民が悪質業者による損害を被ることのないように、また、法に基づく適切な廃棄物の処理が行われるように、しっかりと取り組んでほしい。

## 梶 原 健 一 議員

### 地域防災計画について

【議員】地域の安全は地域で守るという防災の基本理念からして、現在整備中の防災行政無線を活用し、地域での自主防災訓練を推進すべきではないか。

【総務課長】自治会放送に関して自治会間での一定のルールづくりを行うことと併せて、この際防災行政無線を活用して地域での自主的な防災訓練を行うことを改めたいと考えている。

【議員】消防団の団員数は、合併後減少

を続けてきたが、平成21年度はやや増加している。この傾向が一時的なものにならないためにも、団員の募集に一層努めるべきだと思う。そこで、大学生や女性団員の募集は行っているのか。

【総務課長】大学生の募集については、大学の諸行事の際に団が直接行っている。女性団員については、男女共同参画の理念にのっとり、団の幹部会議において加入促進を決定しており、現在積極的に募集活動を行っている。



防災行政無線

### 障がい者福祉計画について

【議員】飯塚市の障がい者福祉計画において、基本方針はどのように定めているのか。

【社会・障がい者福祉課長】障がいのある人もない人も、ともにいきいきと暮らせるまちづくりを基本理念とし、その実現に向け「障がい者の人権尊重と正しい理解の促進」、「障がい者の自立と社会参加の促進」、「誰もが暮らしやすいまちづくりの推進」の3つを基本目標に定めている。

## 佐 藤 清 和 議員

### ダイヤ機械跡地の売却について

【議員】本市が寄付採納を受けて売却したダイヤ機械跡地の近辺では、坪3万円弱で売却しているが、市は坪4千円弱で売却した。この売却金額は妥当なのか。

【管財課長】不動産鑑定意見書に基づくもので、土地の標準価格から鉛などが検出されたことに伴うステイグマ（心理的要因）や土地内にある建物解体撤去費用相当額を減価し、残存価格を加えて算出したものである。財産管理審議会の答申も得ており妥当な価格と判断している。

【議員】跡地の利用については、工業団地ではなく、老朽化が著しい穂波東中学校の移転先にすべきであったと考えるが、この件については検討したのか。

【学校施設等再編整備対策室主幹】学校敷として検討できないかという協議があったが、環境問題等により適さないのではないかとこのことで断念した。

【議員】移転先等については、自分が所属する市民文教委員会でも今後も議論を続けていきたい。

### ご当地グルメについて

【議員】ご当地グルメとして、飯塚伝説ホルモンがスタートしたが、今後の取組みはどのように考えているのか。

【商工観光課長】参加者の中で協議会等を作って頂き、普及活動を推進していきたい。ご当地グルメとして定着させると



めには、グルメの内容研究や他都市でのイベントへの参加、新会員の募集、また地元可愛されるグルメとして地域活動も活発に行っていく必要がある。市としても、しっかりと連携を図りながらご当地グルメの普及促進に努めていきたい。



ご当地グルメお披露目会の様子

## 榆井莞爾 議員

### 少人数学級、小規模校の 大切さについて

【議員】少人数学級の実施により学力の向上が見られたとのことだが、この制度により人格的成長という面でも効果が出ているのではないか。

【学校教育課長】少人数学級の実施により、子どもの実態把握が一層丁寧になり、個別のかわりが密になったことで、教師と子どもとの人間関係が深まったと対象校から報告を受けている。そのことが子ども達の社会的常識や人間性の育成に効果をあげていると分析している。

### 給食費について

【議員】給食費滞納問題の解決を裁判所の手にゆだねることが発生したが、給食は学校教育の3要素の1つであり教育の放棄につながるのではないか。

【教育部長】教育の公平性を保つためにやむを得ず法的手段を講じたもので、教育委員会において決定したものである。

【議員】行政的な考え方であり、教育者としての自覚と誇りが欠如していると考えられる。教育的視点から子どもにも保護者にも接触してほしい。

### 就学援助のさらなる 取組みについて

【議員】他の自治体では眼鏡を援助の項目に加えている場合がある。本市でも、眼鏡を援助の対象とする考えはないのか。

【学校教育課長】極めて視力の低い子ども眼鏡に関しては、現在、健康保険の適用の対象となっている。また、それほど悪くない子どもについては、教室の座席を前列に変更するなどして対応している。

## 川上直喜 議員

### 緊急雇用対策の 改善と充実について

【議員】きめ細かい緊急対策を進めるため、「市独自の財政出動を行い緊急雇用目標を持つて取り組むこと」、「過去に誘致した企業及び企業立地促進補助金を受けている企業に緊急雇用を要請すること」、「仕事のない人の抱える諸問題に対応できる総合相談窓口を設置すること」、以上のような施策を行う考えはないのか。

【経済部長】本市では、国の経済対策と補助金を活用し雇用対策を行っているが、提案のあった件については情報の共有などの課題等もあるので、関係部局とも相談し対応していきたい。

### 住宅リフォーム助成制度について

【議員】この制度は、10%の助成をすることにより、10倍の経済効果を生むことができる。本市でも今後導入すべきではないのか。

【経済部長】地域の経済対策には有効な手段ではあるが、市財政も大変厳しい状況であり、今後の検討課題としたい。

### 工業団地と企業誘致について

【議員】巨額を投じた鯉田工業団地に企業が来なければ、事業は失敗と考える。この場合、責任のとりようがないという考えに変わりはないのか。

【市長】工業団地の完成で事業が終わるということではなく、厳しい状況下ではあるが今後とも営業活動を継続していくので、現段階では失敗と思っていない。

【議員】市長任期の4年間のうち、最大の無駄づかいが企業誘致に係る鯉田工業団地造成と名古屋事務所開設である。企業誘致は本庁で行い、名古屋事務所はただちに撤退すべきである。



鯉田工業団地

## 田中裕二 議員

### 介護保険について

【議員】介護保険制度の問題点は何だと考えるか。また、その見直しをどのように行うのか。

【介護保険課長】介護保険制度の問題点

として、保険料の負担増、介護サービス従事者の人材確保と雇用の安定、介護予防の充実等がある。しかし、制度自体は国が決定するため、市長会等を通じて改善すべき点を要望していきたい。

【議員】高齢者が要介護状態にならないための予防に力を入れ、保険料の上昇を抑えて欲しい。また、負担割合の見直しなど、制度上の改善すべき点ははっきりと国への働きかけをして、できる限りの改善に取り組み、より良い介護保険制度の確立をお願いしたい。



旧伊藤伝右衛門邸

### 観光行政について

【議員】観光行政の目的はその経済効果であり、観光客の市内滞在時間をどれだけ延ばせるかが重要である。そのために、

本市ではどのような取り組みをしているのか。

【商工観光課長】市内の各観光施設が、独自にイベントを行うのではなく、連携したイベントを行うことで、観光客の周遊化に努めている。

【議員】今後の観光行政には、大きな期待が寄せられている。飯塚市にも素晴らしい観光素材がたくさん点在している。それらを線で結び、面に広げること、中心市街地だけでなく、市内全域で観光客の周遊化を図り、観光都市飯塚の実現を目指して欲しい。

### 安藤 茂友 議員

#### 防災システムの構築について

【議員】防災初動マニュアルの見直し点は何か。また、職員は、十分な防災意識を持っているか。

【総務課長】防災初動マニュアルについては、避難勧告等の発令基準に重点を置き、見直すこととしている。また、職員の防災意識が低いとの調査結果が出たため、今後は職員研修等の機会をできるだけ多く設けて、職員の意識の高揚を図りたい。

【議員】防災行政無線の整備等のハード面は整ったが、今後はそれを運用するソフト面の整備が重要である。災害にはいくつものパターンがあり、どのような災害にも対応できる初動マニュアルの見直しや、災害の初期段階での効率的な人員

配置の見直しが急務である。また、立派なマニュアルがあっても、職員の防災意識が低ければうまく機能しないので、職員の意識の高揚を図って欲しい。

【議員】災害時における消防団の出動範囲を越えた連携について、どのように考えているのか。

【総務課長】火災時については、消防団の出動範囲を越えて、過去に5回の応援出動を行っているが、水害時については今後の検討課題としたい。

【議員】浸水被害については広範囲に及ぶものの、現時点では消防団の出動範囲を越えて連携する仕組みはない。柔軟な対応ができるような連携の仕組みを、まず消防団から始めて欲しい。

### 江口 徹 議員

#### 読書環境の整備について

【議員】「子ども読書活動推進基本計画」策定の進捗状況はどうなっているのか。

【生涯学習課長】この計画については素案を作成し、策定委員による協議並びに意見交換を行っている。また、図書館利用者や小中学生に対して、読書に関する意識調査を行い、今後の課題や取り組み等について検討している状況である。

【議員】子どもの読書活動は、子どもの成長に大きな影響を及ぼすものであるため、現在策定中のこの計画は非常に重要である。子ども達が長時間を過ごす現場に、どのような本が置かれているのか、

また、それがどのように利用されているのか、細かい部分の現状把握についても十分に行ったうえで、きちんとした計画を策定して欲しい。

#### 学校における問題行動について

【議員】学校における問題行動とは何か。また、どのような対応をしているのか。

【学校教育課長】現在最も懸念している問題として、対教師暴力件数の増加がある。このような児童生徒の問題行動等を少しでも減少させ、安心して学べる教育環境づくりを目指すために、学校内外での巡回指導や問題行動のある児童生徒を学校と一緒に支援することができる「スクールサポーター」を、来年度に配置できるよう、関係各課と協議している。

【議員】子ども達が安心して通える学校の早期実現をお願いしたい。

### 人見 隆文 議員

#### コミュニティバスの

#### 運行見直しについて

【議員】バスの運行に係る市民の声をどのようにして聞こうとしているのか。

【総合政策課長】地域公共交通協議会の委員には市内全域の自治会長代表等が就任されており、各地域の意見、要望等を集約してもらっている。また、バス車内や各公民館に意見箱を設置し、幅広く意見、要望等を収集するようにしている。

【議員】バスの利用者はもちろんのこと、利用できない住民も含めた中で意見、要



望等を十分に集約し、それを反映していくというやり取りを繰り返すことで、1人でも多くの方々から喜んでいただけるものになるよう、さらなる努力をお願いしたい。



飯塚市コミュニティバス

### 今後の地域活性化策について

【議員】支所は地域活性化に欠かせないものの一つと考えるが、今後の方向性についてどのように考えているのか。

【行財政改革推進室主幹】支所庁舎は地域住民にとって利便性の高い場所に建てられており、軽易な相談、届出等は支所で対応する体制の継続が望まれていると考えるので、住民の意見等を聞きながら、総合窓口化の導入、災害時における職員配置体制の見直し、さらなる分庁方式、分室設置などを検討していく。また余裕

スペースのある庁舎の有効活用についても様々な角度から検討していきたい。

【議員】行財政改革、新しいまちづくりというものは、市民、さらには職員一人ひとりの改革から始まるものと考えて、それぞれが主体者であることを自覚し、取り組んでもらいたい。

### 上野伸五 議員

#### 齊藤市政の総括について

【議員】災害対策の考えを伺いたい。

【都市建設部長】地域からの要望を受け、護岸工事等の応急対策を実施している。今後も集中豪雨に迅速に対応するため、国や県と連携を図り、取り組んでいく。

【議員】市民の命と財産を守るため、経験を活かした浸水対策を強く要望する。



内住川護岸工事の様子

【議員】地元の農産物や特産物の販売網構築に関して、どのように取り組んでいくのか。

【経済部長】地元農産物やフキ・ウコン等の特産物の活性化や販路拡大のため、ネット販売等の新たな販売方法について、情報収集及び研究を行っていく。

【議員】販売方法の提供に伴い、生産者からも様々なアイデアが生まれてくると思う。是非とも早急に実現してほしい。

#### 工業団地への企業誘致について

【議員】製造業の企業誘致に限らず、障がい者職業能力開発校や、高齢者・障がい者を中心となつて働ける工場なども視野に入れた誘致を行うべきではないか。

【経済部長】障がい者や高齢者の就業機会の提供、また農商工連携の推進等にもかかわらず、今後十分に検討していきたい。

【議員】市民は企業誘致に大きな期待を抱いている。様々な可能性を見据え、迅速に対応できる体制を整えてもらいたい。

#### 市民に果たすべき

##### 行政の役割について

【議員】市民への説明義務を果たすため、市報をより充実させるべきではないか。

【企画調整部長】十分に工夫を凝らし、正確で分かりやすい内容に心がけたい。

【議員】協働のまちづくりを掲げる本市として、行政の考えを市民にしっかりと丁寧に伝えることに大きな力を注ぐべきだ。ただちに実現してもらいたい。

## 市議会議員 補欠選挙の結果

4月18日に行われた市議会議員補欠選挙により、新たに2名の市議会議員が当選しました。

(おばた としゆき)

小幡 俊之 氏

住所 飯塚市下三緒553番地3  
年令 52歳

(はまもと やすよし)

濱本 康義 氏

住所 飯塚市有井355番地7  
年令 69歳

### 議会を傍聴してみませんか。

本会議や委員会とはどなたでも傍聴できます。

議場へは3階の傍聴席入口のほか、4階からもご入場いただけます。

次回定例会は6月14日(月)に開会の予定です。

日程の詳細については、議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局(電話0948・22・0214)までお問い合わせください。